

英国公社債ファンド(毎月分配型)(愛称:UKボンド) 政策金利の引き下げを受けた今後の見通し

2016年8月10日

平素は、「英国公社債ファンド(毎月分配型)(愛称:UKボンド)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
当ファンドの最近の運用状況と今後の見通しについて、お知らせいたします。

《基準価額・純資産の推移》

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

2016年8月5日現在

基準価額	7,583 円
純資産総額	579百万円

期間別騰落率

期間	ファンド	英ポンド
1カ月間	+1.7 %	-2.2 %
3カ月間	-6.9 %	-14.5 %
6カ月間	-14.0 %	-22.0 %
1年間	-24.5 %	-31.3 %
3年間	----	----
5年間	----	----
年初来	-17.7 %	-25.6 %
設定来	-21.5 %	-26.9 %



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。為替の騰落率は、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を採用し、算出しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1～4期 合計:	80円
第5期 (15/08)	20円
第6期 (15/09)	20円
第7期 (15/10)	20円
第8期 (15/11)	20円
第9期 (15/12)	20円
第10期 (16/01)	20円
第11期 (16/02)	20円
第12期 (16/03)	20円
第13期 (16/04)	20円
第14期 (16/05)	20円
第15期 (16/06)	20円
第16期 (16/07)	20円
分配金合計額	設定来: 320円 直近12期: 240円

※分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国債券	18	94.0%
コール・ローン、その他※		6.0%
合計	18	100.0%
※外貨キャッシュ、経過利息等を含みます。		
債券種別構成		
種別	合計94.0%	
国債	46.5%	
事業債	39.1%	
政府機関債	8.3%	

債券ポートフォリオ特性値	
直接利回り(%)	4.4
最終利回り(%)	1.6
修正デュレーション	7.7
残存年数	10.4
通貨別構成	
通貨	比率
英ポンド	98.4%
日本円	1.6%
債券格付別構成	
格付別	比率
AAA	8.9%
AA	45.0%
A	25.5%
BBB	20.6%
BB	---
B以下	---

※債券格付別構成の比率は、債券ポートフォリオに対するものです。

※格付別構成について、海外発行体はMoody's、S&Pの格付けの高い方を採用し、算出しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

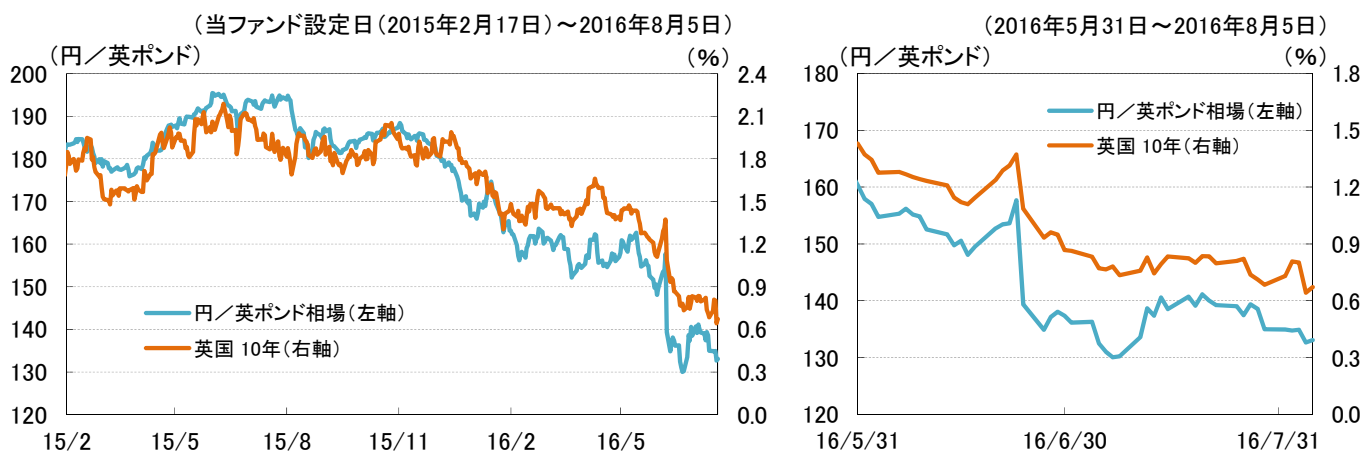
販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212 (営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

＜市場環境＞

当ファンドの設定以降、英ポンド円は下落、英国の債券市場の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

設定日より2015年末にかけては、英ポンド円および英国金利は一進一退の推移が続きましたが、2016年に入ると中国株の急落をきっかけとした世界的な株安の流れから、市場のリスク回避姿勢が強まり、英ポンド円は下落、英国金利は低下しました。その後は、英国のEU（欧州連合）離脱に対する思惑に左右される展開となりましたが、6月23日（現地、以下同様）に行われた国民投票で英国のEU離脱が選択されたことを受けて、英ポンドは下落、英国金利は低下しました。7月以降は英国のEU離脱問題に対するショックが収束する中で、英ポンド円に持ち直しの動きが見られましたが、8月4日のBOE（イングランド銀行）の金融政策委員会で強力な金融緩和が決定されたことから、足元では英ポンド円は再び下落、英国金利はもう一段低下する動きとなっています。

英国10年国債利回りと英ポンド円の推移



(出所)ブルームバーグ

＜設定来の基準価額の動きと運用状況＞

設定来の当ファンドの基準価額の動きは以下の通りです。

	分配金再投資 基準価額
2015年2月17日	10,000円
2016年8月5日	7,854円
騰落幅	▲2,146円
騰落率	▲21.5%

	騰落内訳		
	債券要因	為替要因	信託報酬、 その他要因
騰落幅	+644円	▲2,614円	▲176円
騰落率	+6.4%	▲26.1%	▲1.8%

上記の市場環境の中、設定来の基準価額の下落の要因は、英ポンド円の下落によるものとなっています。

当ファンドでは英ポンド建ての国債および事業債を中心に投資しています。英国債金利が低下したことで、投資する債券の価格が上昇しました。また、足元ではBOEによる社債買い入れ決定を受けて、一部の事業債の利回りが国債金利よりも低下（債券価格は上昇）したため、債券要因による上昇を後押ししました。

＜英国の利下げについて＞

BOEは8月4日、英国のEU離脱問題による景気の下振れを防ぐため、4つの金融緩和策の導入を発表しました。

- 政策金利の引き下げ(0.5%→0.25%)
- BOEから銀行への新たな資金供給の枠組みの創設
- 事業会社(非金融)の社債の買い入れ(最大100億英ポンド)
- 国債の購入枠の拡大(3,750億英ポンド→4,350億英ポンド)

市場では0.25%ポイントの利下げはほぼ織り込んでいましたが、社債の買い入れや国債の購入枠の拡大(量的緩和)は予想されていなかったため、今回の金融緩和は市場予想を上回る内容となりました。同時に発表されたGDP(国内総生産)成長率(暦年)見通しは、5月のインフレ報告書の内容から下方修正されました。一方で、インフレ率(10-12月期の前年同期比)は5月時点から上方修正されています。

	2016年	2017年	2018年
GDP成長率(暦年)見通し(%)	2.0 (2.0)	0.8 (2.2)	1.7 (2.2)
インフレ率 (10-12月期の前年同期比、%)	1.3 (0.9)	2.0 (1.8)	2.4 (2.2)

※括弧内の数値は5月のインフレ報告書の見通し

今回の金融緩和を導入するにあたり、BOEは、国民投票後の急速な英ポンド安によりインフレ率が一時的に上振れる状況となっても、景気の下支えをより優先したと説明しており、この施策により、マイナス成長は回避されるとの見通しです。

今後の金融政策については、さらなる政策金利の引き下げや量的緩和の拡大も示唆していますが、カーニーBOE総裁は「マイナス金利は支持していない」と発言するなど、現時点ではマイナス金利導入の可能性は低いとみられており、今回できる範囲で最大限の緩和を予防的に行ったと思われる。英国の政治・経済情勢の不透明感が強まる中で、景気の下振れリスクに対応しようとするBOEの確固たる姿勢は市場を安定化させるとともに、景気に対する過度な悲観論を後退させ、实体经济にプラスの影響を働きかけるとみられます。年後半には、英国政府による財政出動も見込まれており、今後も金融政策、財政政策の両面から英国経済を下支えしていくものと考えられます。

＜今後の見通しと運用方針＞

為替市場については、英国経済の減速が懸念される状況下、BOEによる追加緩和期待が残ることから、英ポンドの上値を抑える展開も予想されます。ただし、市場が悲観するほどの英国のファンダメンタルズ悪化を結論付けるのは時期尚早であり、減価が進んだ英ポンドは反発の余地がある水準と捉えています。BOEによる予防的な金融緩和に加え、EU離脱に対する現実的な政策発動や離脱交渉の進展などで市場の懸念が後退すれば、英ポンドは再評価される可能性があるとの見方に変わりはありません。

債券市場については、さらなる政策金利の引き下げが見込まれていますが、カーニーBOE総裁の発言からも現時点ではマイナス金利導入の可能性は低いとみられます。市場では追加利下げを相応に織り込んだ状態にあることから、足元の国債金利は低下が進んだ状態にあるとみています。英国政府による財政出動などEU離脱に対して現実的な施策が講じられ市場の懸念後退が促されれば、金利低下圧力が緩和すると考えられます。事業債についてはBOEによる社債の買い入れから、今後の社債市場の需給は引き締まるとみられ、投資妙味が増した状態にあると考えています。引き続き、今後のEU離脱に向けての状況を注視しながら、国債、事業債の組入比率の変更や、事業債の銘柄選択を進めてまいります。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

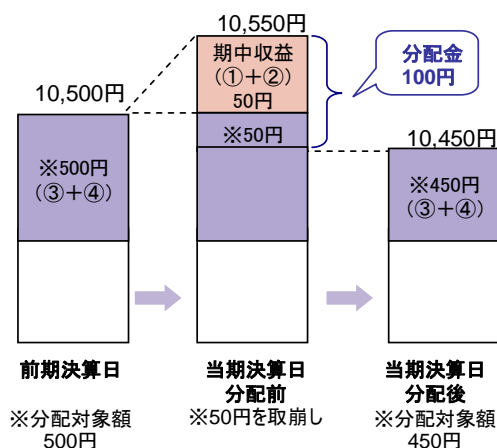
投資信託の純資産

分配金

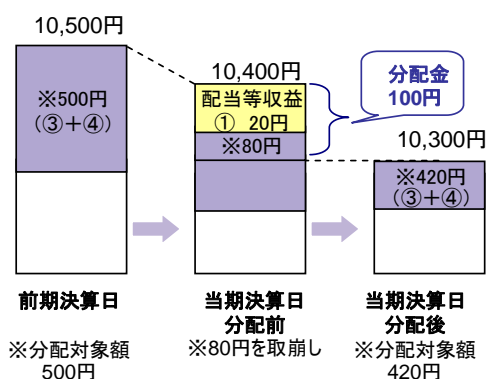
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



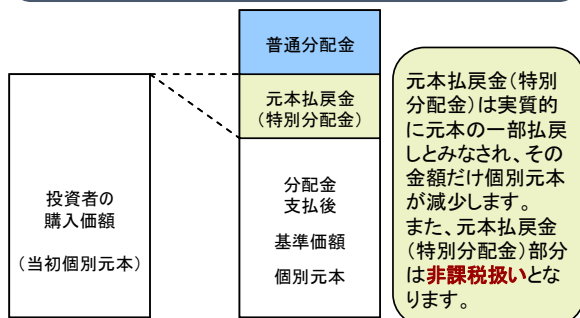
前期決算日から基準価額が下落した場合



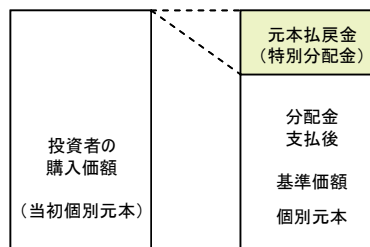
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

英国公社債ファンド(毎月分配型)(愛称:UKボンド)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 英国ボンド建ての債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

ファンドの特色

1. 英国ボンド建ての債券に投資します。
 - ◆ 投資対象は、国債等(国家機関、政府・地方政府、国際機関もしくはそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券を含みます。)および社債とします。
 - ※ 英国国外の発行体が発行する英国ボンド建ての債券を含みます。
2. 投資する債券の格付けは、取得時においてBBB格相当以上とすることを基本とします。
3. ポートフォリオの修正デュレーションは、5(年)程度から10(年)程度の範囲を基本とします。
 - 金利リスク調整のため、英国ボンド建ての国債先物取引等を利用することがあります。
4. 毎月8日(休業日の場合翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
5. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「英国公社債マザーファンド」です。
 - ※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他(解約申込みに伴うリスク等)」

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)2.16%(税抜2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.2744% (税抜 1.18%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

※1ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

英国公社債ファンド（毎月分配型）（愛称：UKボンド） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○			
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。